

## 1 プランの背景 ～なぜ今、文化振興なのか～

### (1) 人口の急激な増加

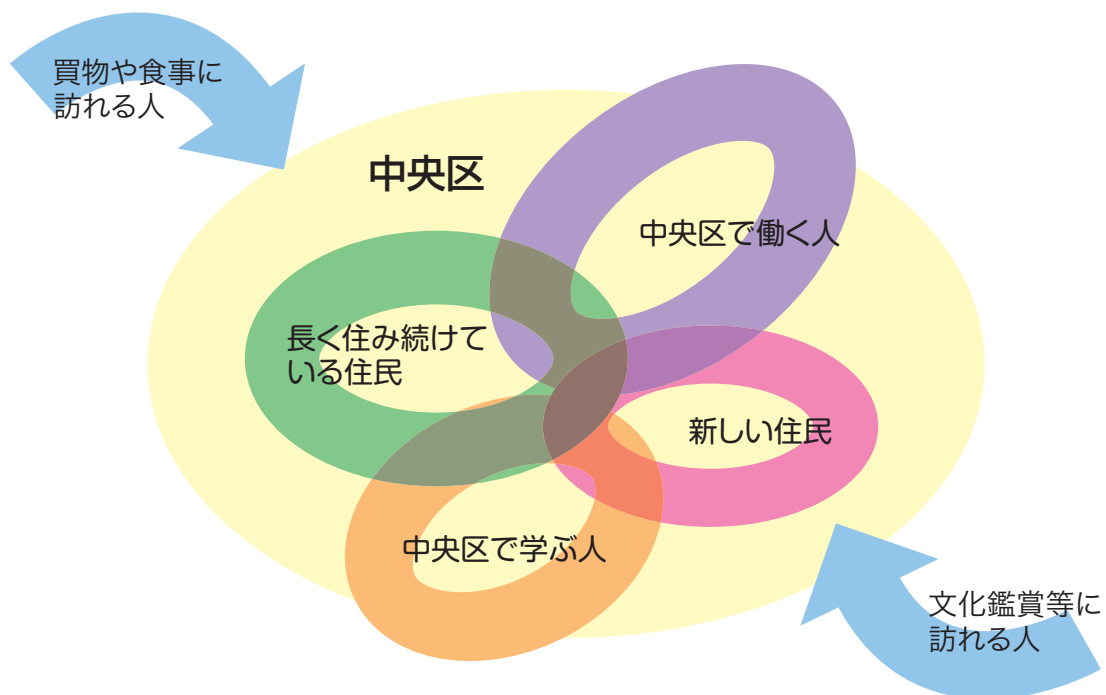
中央区は、江戸開府以来400年にわたり、わが国の文化・商業・情報の中心として発展してきた長い歴史と伝統を誇る由緒あるまちです。面積は小さいながらも、江戸五街道の起点である名橋「日本橋」、世界のショッピングストリート「銀座」、日本のウォール街「兜町」、食文化の中心「築地」、佃や月島をはじめとした豊かな水辺等さまざまな魅力に満ちあふれ、多くの人たちが集う活気とにぎわいのまちです。しかし、高度経済成長や、バブル経済とその崩壊の過程で生じた人口の減少や都心の空洞化に悩まされ、長年にわたり人口回復に向け、住宅施策をはじめとしたさまざまな取組が行われてきました。

こうした努力が実り、平成18年4月、基本構想に掲げていた「定住人口10万」の目標が達成されました。この10年間での人口の増加率は4割を超え、全国的にも例を見ない伸び率となっており、30代を中心とした若い世代も増えてきましたが、単身世帯も多く、世帯構成員の平均が2人を割る状況になっています。また、オートロックやワンルームのマンションも数多く建設され、大規模な再開発が進み街並みが大きく変わる中、新たな住民の町会や自治会への加入も減り、人と人のつながりは、地域によっては希薄なものになろうとしています。

こうした中、中央区では、地域の一層の活性化を図るため、新しく中央区に住まわれた人たちも積極的に参加する **新たな都心コミュニティ** をつくっていくことが大きな課題になっています。また、同時に、人が集うまち中央区としては、そこに働き、学び、訪れる人たち全てを含めた取組を行っていくことが必要です。住民が増え、街並みも大きく変わりつつある今、長年にわたって育まれてきた魅力的な中央区の文化をあらためて見つめ直すことも重要になっています。

#### <区民>

中央区は、文化・商業・情報の中心として多くの人たちが集うまちです。本プランでは、「区民」を中央区に住んでいる人たちを中心としながらも、**在勤者、在学者、来訪者等** を含めてとらえていきます。



## (2) 文化が人のつながりをつむぎ出す

文化は、全ての人々にとって、真にゆとりやうるおいを実感できる心豊かな生活を実現していくために欠かすことができません。また、文化は、人を引きつける魅力や社会にさまざまな側面から影響を与える大きな力を持っており、経済活動等においても新たな需要や価値を生み出す源となるものです。

また、長年にわたり地域で育まれてきた文化は、史跡や文化財、祭りや伝統芸能などに残されているだけでなく、街並み、生活(しぐさ、作法等)、商習慣、言葉使いなど、人々を取り巻くあらゆるところに刻まれており、地域の魅力として、住民たちに地域への愛着心を抱かせ、それが地域の活力にもなっています。

こうした文化の持つ力は、中央区に長らく住み続けている人たちの心や生活の豊かさにつながっているだけでなく、新たに中央区に住み、集う人にとっても大きな魅力であり、中央区にさらなるにぎわいやうるおいをもたらす大きな力となるものです。

中央区の文化をあらためて認識するとともに、その魅力をさらに高め内外に発信していくことで、住民だけでなく中央区に集う全ての人たちの心を満たしていくとともに、それぞれの間につながりをつむぎ出していきます。

## <文化>

本プランにおいて、「文化」は、芸術、伝統芸能、生活文化等をはじめとした文化芸術(※)だけではなく、歴史や伝統、生活様式、価値観、都市景観などを含むものとしてあつかいます。その上で、地域に親しまれ、地域に育まれる文化を、中央区における文化振興の対象としていきます。

※文化芸術の例(文化芸術振興基本法(平成13年法律第148号)の第8条～第13条を参考にしています。)

- ・ 芸 術 文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊等
- ・ メディア芸術 映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術
- ・ 伝統芸能 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎等
- ・ 芸 能 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等
- ・ 生活文化 茶道、華道、書道等
- ・ 国民娯楽 囲碁、将棋等
- ・ 文化財、出版物等